

図書館

〈静かな憩いのときを あなたの図書館で〉

◆ 新着本のご案内 ◆

(絵本と児童書)

『こねこちゃん こねこちゃん』 長野ヒデ子 作・絵
こねこちゃんが12匹、みんなでゴロゴロ雪だるま。楽しい冬の日が始まるよ。

『にっぽん 探検大図鑑』
小中学校社会科、自然・産業・暮らし・伝統文化・・・日本がはっきり見えてくる！

(ヤングアダルト)

『星新一 ちょっと長めのショートショート 親友のための』 星新一 作 和田 誠 絵
星新一ショートショートの傑作。・・・たっぷり面白い！

『知』のビジュアル百科 33 『太古の生物図鑑』 ウィリアム・リンゼー 著 伊藤 恵夫 監修
この世界に存在する森羅万象を、科学、歴史、文化の3方向からわかりやすく解説。

(一般図書)

『警察庁から来た男』 佐々木 譲 著
キャリアのプライドか、ノンキャリアの意地か。北海道警察に警察庁から監査・・・

『新版 北海道の歴史 下 近代・現代編』 関 秀志、桑原真人、大庭幸生、高橋昭夫 共著
北海道の歴史を、明治以後の近代史と戦後の現代史に分け、この時代の北海道が持つ、日本近代史の中での特色・・・

◆ お知らせ ◆

◆ 2月の本棚 「北方領土の本」 2月1日(木)～2月27日(火)
◆ ひなまつり こどものつどい 3月3日(土) 午後2時

【根室市図書館 ☎23-5974】

焼死者事故防止強調週間 2月1日～7日

これからの季節は、本格的な厳寒期を迎え暖房機器等の集中的な使用に加え、空気が乾燥するなど、全国的に火災が多発する傾向にあります。特に高齢者や子供、身体の不自由な方は逃げ遅れが原因で火災の犠牲になることが多いので、普段から次のポイントに注意しましょう。

また、火災は「火」よりも早く煙から逃れ、身を守る「煙」が恐ろしいので、一刻

ことが大切です。

《安全に避難するために》

- ・就寝する場所は避難しやすい場所で、二方向以上の避難口を決めておく。
 - ・廊下や出入口、階段などに避難の妨げになるものは置かない。
 - ・一度避難したら絶対に家の中に戻らない。
 - ・服装や持ち物にこだわらず、できるだけ早く避難する。
 - ・高齢者や体の不自由な方を最優先に避難させるように心掛ける
- (寝たきりの人は、毛布や布団)

《煙から身を守るために》

- ・煙の中を逃げる時は、濡れたタオルなどを鼻と口に当てる。
- ・呼吸は「鼻から吸って口から吐く」を繰り返す。
- ・できるだけ低い姿勢で、床スレスレのところに残っている空気を吸うようにする。
- ・煙は階段などの縦方向に一気に広がるので特に注意が必要です。

▽根室市消防本部 警防課
☎(24)3164番

春国岱原生野鳥公園 ネイチャーセンター

NCS通信

〒086-0074
根室市東梅103番地
☎0153-25-3047

「昼のフクロウ」

今年、雪が少なくネイチャーセンターの周辺は1月になっても地面が見える日が続いています。冬というと雪を想像しますが、冬は雪を運んでくるばかりではなく、生き物も運んできます。冬が近づくと、それまで北の国で暮していた鳥達が、南の方へと移動してきます。夏の間、根室以北で暮していた鳥達が、根室を訪れるのです。

冬を訪れる鳥はいくつかありますが、その1つにフクロウの仲間がいます。頭の上に、小さな耳のような羽がちょこんとついたコミミズクです。

フクロウというと、夜の暗闇に、大きな目を開き、耳を

澄まして獲物を狙う姿を想像しますが、コミミズクは、日中、見通しのきく草原の上空をひらひらと舞いながら、ネズミなどのエサとなる生き物を探しています。獲物を見つけたと思うと、ひらりと体を降下させ、その足で獲物を捕まえます。

コミミズクは冬に訪れる鳥ですが、確認される数が、年により多かたり、少なかたりします。エサとなる生き物の量、積雪量、周辺環境の変化などに左右されているのでしょうか。今年も冬が深まり、コミミズクの季節となりました。今年の冬は、彼らの姿は見られるでしょうか。昼過ぎから夕方にかけて、足を運び、草原に舞う彼らの姿を探してみたいと思います。



(レンジャー 山口 桂賜)